

放射性物質対処型森林・林業再生総合対策事業（拡充）

令和8年度予算概算決定額 3,788,641千円（前年度 3,731,121千円）

<対策のポイント>

被災地の森林・林業の再生を図るため、森林内における放射性物質の実態把握、ほど木等原木林再生のための実証、間伐等の森林整備と一体的に行う土砂流出防止柵の設置等の放射性物質対策に加え、帰還困難区域の森林整備の再開に向けた実証事業等を実施します。

<事業目標>

森林・林業の再生を通じた被災地の復興

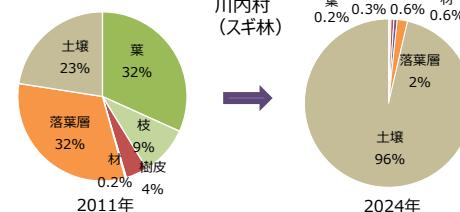
<事業の内容>

1. 森林内における放射性物質の実態把握

233,096千円

- 森林内の放射性物質による汚染実態等を把握するため、樹冠部から土壤中まで階層ごとの放射性物質の分布状況等の調査・解析、**樹木による放射性セシウムの吸収に**関係する**土壤化学性の調査等**を実施します。

1. 森林内における放射性物質の実態把握



土壤等の濃度測定

樹木に沈着した放射性セシウムは雨による溶脱や落葉などで地表へ移動し、森林内の分布は14年間で大きく変化

2. 森林・林業再生に向けた実証等

2,019,463千円

① 帰還困難区域等における実証

帰還困難区域等において、地域住民の帰還と**林業の再生を円滑に進められるよう、森林施業が放射性物質の動態に与える影響等の検証や実証事業**を実施します。

② ほど木等原木林再生のための実証

放射性物質の影響を受けている里山・広葉樹林の計画的な再生に向けた**実証的な取組**を支援します（「里山・広葉樹林再生プロジェクト」は本事業を活用して実施します）。

③ 情報の収集・整理と情報発信等

森林・林業の再生に向けた**情報の収集・整理と情報発信、帰還困難区域における安全な森林作業のためのリスクコミュニケーション**を実施します。

2. 森林・林業再生に向けた実証等

① 帰還困難区域等における実証



間伐等の影響検討

リターの蓄積量把握

② ほど木等原木林再生のための実証



原木林の成林

伐採及びぼう芽更新

③ 情報の収集・整理と情報発信等



シンポジウム

企画展示

伐採及びぼう芽更新木等の濃度測定による再生実証
「里山・広葉樹林再生プロジェクト」の推進

<事業の内容>

3. 放射性物質対処型林業再生対策

1,536,082千円

① 森林整備の実施に必要な放射性物質対策

事業地を選定するための汚染状況重点調査地域等の森林の放射線量等の概況調査、作業計画の検討を行うための事業対象森林の調査、森林所有者等への説明・同意取付等を支援します。

また、放射性物質の移動抑制のための筋工の施工等森林整備を実施する際に必要な放射性物質対策を支援します（「ふくしま森林再生事業」は本事業を活用して実施します）。

② 里山再生事業

住居周辺の里山において、住民の安全・安心の確保に資するため、環境省・復興庁による除染・線量測定の取組と連携して森林整備を実施します。

<事業イメージ>

3. 放射性物質対処型林業再生対策

① 森林整備の実施に必要な放射性物質対策



放射線量等の概況調査等



関係者の同意取付



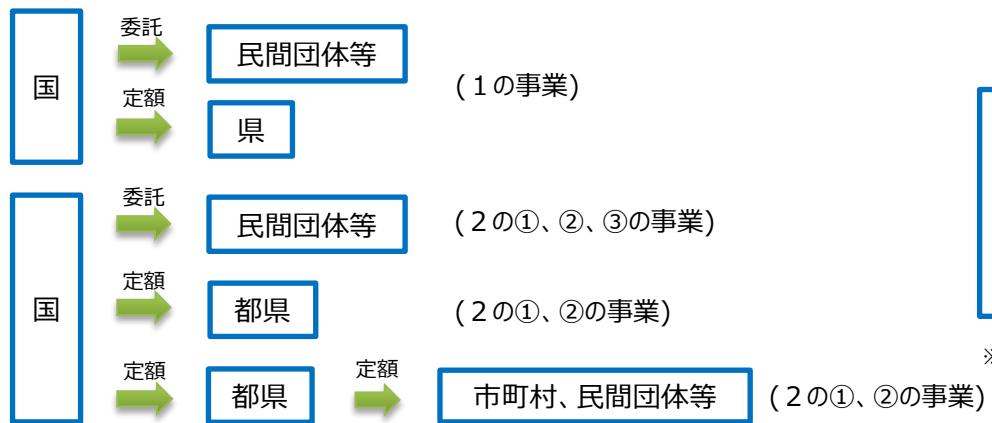
移動抑制対策(筋工)

② 里山再生事業

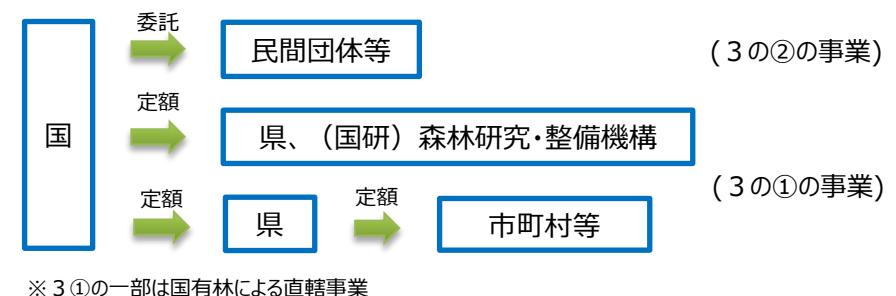


自然観察園（スギ、アカマツ等の間伐）

<事業の流れ>



※ 1 の一部は国有林による直轄事業



※ 3 ①の一部は国有林による直轄事業

[お問い合わせ先] 林野庁研究指導課 (03-6744-9530)
業務課 (03-3503-2038)